

# 議会 だより

こがし  
古河市

第72号

令和4年9月1日

編集／議会だより編集委員会

発行／古河市議会

ホームページ

古河市議会

検索



夏の思い出（わたらせ水辺の楽校自然体験イベント）

## 令和4年第2回定例会開催

第2回定例会は6月7日から6月17日までの会期11日間で開かれ、認定5件、報告11件、議案9件について審議しました。一般質問は6月14日、15日に行われ9名の議員が登壇しました。請願3件、陳情1件については、3ページの請願・陳情一覧表のとおりとなりました。

今定例会から、古河ケーブルテレビによる議会の生放送が開始となりました。市民の皆さまに、より身近で開かれた議会運営を目指してまいります。

## 令和4年第2回定例会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
認定第3号	古河市税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	4.6.7	承認
認定第4号	古河市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	4.6.7	承認
認定第5号	古河市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の報告及び承認を求めることについて	4.6.7	承認
認定第6号	令和4年度古河市一般会計補正予算(第1号)の専決処分の報告及び承認を求めることについて	4.6.7	承認
認定第7号	令和4年度古河市一般会計補正予算(第2号)の専決処分の報告及び承認を求めることについて	4.6.7	承認
議案第43号	古河市議会議員及び古河市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	4.6.17	原案可決
議案第44号	古河市税条例等の一部改正について	4.6.17	原案可決
議案第45号	古河市国民健康保険税条例の一部改正について	4.6.17	原案可決
議案第46号	財産の取得について	4.6.17	原案可決
議案第47号	財産の取得について	4.6.17	原案可決
議案第48号	市道の路線廃止について	4.6.17	原案可決
議案第49号	市道の路線認定について	4.6.17	原案可決
議案第50号	令和4年度古河市一般会計補正予算(第3号)	4.6.17	原案可決
議案第51号	令和4年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)	4.6.17	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

## 副議長がかわりました

定例会最終日の6月17日に、赤坂育男副議長の辞職に伴う副議長の選挙が行われ、稲葉貴大議員が選出されました。

また、稲葉貴大議員の産業建設常任委員長辞任に伴い、委員長に鈴木務議員、副委員長に渡辺松男議員が選出されました。



副議長 稲葉 貴大

### 請願・陳情一覧表

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
請願第3号	安全安心な道路整備に関する請願書	産業建設常任委員会	趣旨採択 (※)
請願第4号	超少子高齢化社会への対応に関する請願書	総務常任委員会	継続審査
請願第5号	「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止し、すべての農家経営への支援策強化を求める請願	産業建設常任委員会	継続審査
陳情第4号	「死体埋葬許可証」に関する陳情	文教厚生常任委員会	不採択

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

※趣旨採択・・・請願・陳情の願意は妥当だが、その一部の実現が困難と思われ、「趣旨については賛成」とするもの

### 賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会					古河市公明党				真政会					市民ベースの会					無党派				
	渡邊澄夫	佐藤泉	大島信夫	鈴木務	小森谷博之	鈴木隆	高橋秀彰	佐藤稔	鶴見久美子	渡辺松男	黒川輝男	赤坂育男	青木和夫	稲葉貴大	園部増治	落合康之	増田悟	倉持健一	阿久津佳子	長浜音一	生沼繁	小山高正	古川一美	秋庭繁
認定第5号		○				-		○	○			○				○	欠		○		○	○		×
陳情第4号		×				-		×	○			×				○	欠		×		×	×		○

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。

※欠席議員は「欠」と表示。



第2回  
定例会

## 一般質問

第2回定例会の一般質問は、6月14日、15日の2日間行われ、9名の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行部に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたずねるため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。

写真下部の2次元コードをスマートフォンのカメラ等で読み取ると、録画映像をご視聴いただけます。一般質問の臨場感を体感してください！



阿久津 佳子 議員

ごみの適正処理と資源循環推進  
について

**問** ①ごみの排出段階・分別・収集運搬・処理・中間処理施設・最終処分施設での課題、行財政的な課題、最も重要な経済的インセンティブ（動機づけ）・市民の行動変容の必要性をどう考えているのか②プラスチック新法において市と市民が取り組むべき課題とその周知について③歳入になる専ら物<sup>もっぱら ぶつ</sup>（※）の収集推進について④「全てのごみを資源ごみ」として捉え、自治体とし

※専ら物…専ら再生利用の目的となる廃棄物で、古紙、古繊維、くず鉄、空き瓶類の4品目

て今後取り組むべき課題および「家庭ごみ有料化」に向けた検討とその課題について、以上、所見を伺う。

**答（市長）** ④家庭ごみ有料化の課題は、家計の金銭的負担や不法投棄などである。他自治体の事例や状況を踏まえ、慎重に検討していきたい。

**答（副市長）** ②分別方法や収集方法が課題である。市民に、新法への理解と行動変容を促すため情報提供に努めていく。④市の課題は、ごみ処理の一元化、ごみ出し困難者への対応を含めた市民サービスの維持向上、資源循環に向けた市民行動の変化による効果などである。

**答（市民部長）** ①総和・三和地区は、さしま環境管理事務組合

施設で廃プラスチックも可燃ごみとして焼却している。プラスチック新法の施行により、今後は廃プラスチック類の分別と資源化に努めなければならないため、同組合と協議し、同法に対応した処分方法を検討していく。喫緊の課題は、古河クリーンセンターの老朽化した焼却施設への対応である。③売却益のある専ら物収集は、分別の徹底が重要であり、広報等で、より一層のPRに努めていく。

リサイクルマークのある  
プラスチック容器類



落合 康之 議員



## 防災・減災について

**問** 地震等による断水対策について質問する。①日本人が一日に使用する水の量はどれくらいか。②市としての対策はどうなっているのか。③「コミュニケーションは備え」というが、災害時には協力井戸として、個人や民間所有の井戸を使用できるように協定を結ぶべきと考えるが市長はどう思うか。

**答 (市長)** ①1人当たり約240

リットルと言われている。②災害時には、三和浄水場貯水タンクや市内9カ所の耐震性貯水槽の水を供給できる。また、備蓄用ペットボトルも保管している。③生活水の確保として、有意義な取り組みであり、災害時の地域的なつながりを強くするメリットもあると考える。前向きに検討していきたい。

## 企業立地について

**問** 昨年6月15日の一般質問で、データセンターの誘致についてお尋ねしたが、この一年間どのような活動をしてきたか。

**答 (副市長)** 国からの情報収集や担当部署と情報共有を図りながら、誘致の可能性について検

討してきた。未来産業用地開発事業については、データセンターに限らず、さまざまな職種の企業誘致を目指していく。

**再質問** 都市間競争であるから、県とも連携し、古河市の生き残りをかけてしっかりと取り組んでほしい。

**答 (副市長)** 企業誘致においては、都市間競争に打ち勝つように進めていきたい。



開発が進む工業団地



長浜 音一 議員



## カーボンニュートラル(脱炭素社会)への具体的行動指針は

**問** カーボンニュートラルを旗揚げした市の具体的行動指針について、以下に問う。

①地球温暖化による気候変動に関する見解。②なぜ、カーボンニュートラルなのか。また、市のカーボンニュートラルの行動目標。③CO<sub>2</sub>の「排出削減」と「減少」に関する見解、およびCCUS(=二酸化炭素の回収・有効利用・貯留)、J-クレジット制度<sup>(※)</sup>に関する見解

※J-クレジット制度…CO<sub>2</sub>等の排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度

と取り組み。④カーボンニュートラルを実現するための具体的な行動計画と、今後の脱炭素化に向けた環境教育と啓発活動への取り組みについて。

**答 (市民部長)** ①気候変動や自然災害の発生は食料生産にも悪影響を及ぼし、不安定な食糧供給の原因になる。そうした側面からも地球温暖化は世界全体で取り組む問題だと考えている。②温室効果ガスの大部分を占める二酸化炭素の抑制を目指している。市では国の目標と同様、2030年度に2013年度比較で46%の温室効果ガス排出削減を目標とする計画を策定中である。③今後は、排出された大気中のCO<sub>2</sub>を回収、吸収して減少させる取り組みが重要になってくる

と考えている。CCUSについては、CO<sub>2</sub>削減に対する有効な技術となる可能性があり、情報収集を進めていく。J-クレジット制度は、環境貢献企業としてのPR効果、企業評価の向上等があり、制度の動向を注視している。④現在、第2次古河市環境基本計画の策定を進めている。子どもだけでなく、大人も含めた環境教育が重要だと考えている。今後も広報等で、地球温暖化防止への取り組みの重要性について啓発していく。



## 《その他の質問》

・行政運営


**黒見 久美子 議員**

**妊娠・出産ケアサポートについて**

**問** 核家族化や地域のつながりの希薄化が進み、妊娠出産および子育てに係る不安や負担が増えている中、切れ目のない支援が重要である。①家事と育児両方の支援をし、赤ちゃんと母親に寄り添う産後ドゥーラの導入と利用者への助成について伺う。②母子健康手帳はお母さんと赤ちゃんにとって、記録として残せる手帳であるが、体重1,000グラム、身長40センチメートル

ルからの記入のため、1,000グラム未満のリトルベビーの場合、記入できない。リトルベビーの成長と不安を抱える家族に寄り添うリトルベビーハンドブック導入について伺う。③これからお父さんになる方、子育て中のお父さんのための父子手帳導入について伺う。

**答（福祉部長）** ①産後の母親支援は、助産師、保健師等を中心に医療機関と連携を取りサポートしている。産後ドゥーラ養成講座の受講料や利用料金の助成を行っている自治体があることは把握しており、それらを参考に市のニーズに合った支援を検討していきたい。②保護者に対して「小さく生まれた赤ちゃんのママとパパへ」というパンフ

レットを活用し、育児支援を行っている。母子健康手帳での記載は難しい部分もあるため、リトルベビーハンドブックを参考に、検討していく。③父子手帳は交付していないが、両親で読んでいただく副読本を配布している。また、パパ・ママクラス等で父親の意識向上と育児参加を促している。父子手帳は、副読本と重なる内容でもあるため、育児支援に必要な情報ツールとしての有効性を研究していきたい。

**「産後ドゥーラ」の主な活動**

**高橋 秀彰 議員**

**地方創生臨時交付金の活用について**

**問** コロナ禍における原油価格、物価高騰等の影響による国民負担の軽減を図るため拡充された地方創生臨時交付金だが、地域の実情に応じ、さまざまな事業に、幅広く活用できるわけであり、今後、市民生活を守る支援への活用が必要と考えるがどうか。

**答（市長）** 地方創生臨時交付金は、真に支援を必要とする市民

と事業者へ行き渡るよう最大の努力をしていく。

**答（企画政策部長）** プレミアムエール商品券事業は交付金での対応を見込んでいる。

**答（福祉部長）** 国・県の動向を注視し、子育て世帯の生活支援を検討していきたい。

**答（上下水道部長）** 水道料金の負担軽減実施に向け、対応を進めている。

**答（教育部長）** 給食費は、物価高騰により食材費予算の不足が懸念されるが、交付金活用を検討し、保護者の負担軽減に努めるよう進めていく。

**多文化共生社会の実現について**

**問** 外国人の人材に対するニーズが高まる中で、外国人居住者

が増加し、身近な存在になってきている。地域での、互いの暮らしにおいて、信頼と安心の生活の確保が大事である。今後、本市においても、多様性と包摂性の潤いある多文化共生社会の実現へ、取り組んでいく必要があると考えるがどうか。

**答（市長）** SDGsの理念に「誰一人取り残さない」とあるように、市としては多文化共生を推進し、一市民として外国人からも日本人からも選ばれる魅力ある古河市を築き上げていきたいと考えている。





佐藤 稔 議員

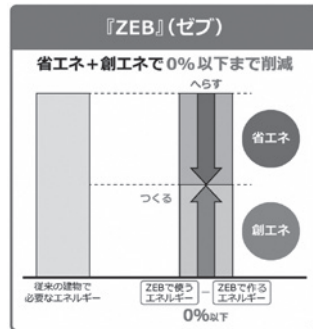


### 「ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）化」の促進について

**問** カーボンニュートラルの達成に向けた取り組みを考えた時、公共施設の整備事業は、建築物の消費するエネルギー量を削減する「省エネ」と、太陽光等の自然エネルギーを創り出す「創エネ」を組み合わせたZEB化が求められるが市の考えを伺う。

**答（市長）** 行政は、カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素化事業に積極的に取り組む必要が

ある。また、企業も設備等に省エネ化が求められる。市におけるゼロカーボンシティ宣言の達成に向け、市民と事業者、行政が一体となり、その実現を目指すことが重要だと認識している。



ゼロ・エネルギー・ビル[ZEB]の考え方（環境省ホームページより）

**答（教育部長）** 学校施設は、体育館照明のLED化を進めている。今後は、施設の長寿命化改良事業等の実施の際に、ZEB化について検討する予定である。

### 「障がい者手帳アプリ」の導入について

**問** 紙の障がい者手帳は、長期間使用していると文字や写真が擦り切れたり、水に濡れてにじんでしまうなどの問題点があった。この手帳をスマートフォンのアプリとして活用できる、「ミライロID」の導入を提案するが市の考えを伺う。

**答（福祉部長）** 手帳の課題からも有用であると考え。障がいがある方の生活の利便性向上につながるため、手帳をお持ちの方や施設関係機関に周知を図り、アプリの活用を推進していく。

### ＜その他の質問＞

・動物愛護の推進について



小山 高正 議員



### 健康推進について

**問** ①家庭内受動喫煙の実態は把握しているか。ニコチン測定キットの利用で、家庭内啓発をする考え方についての所見。②駅周辺の路上喫煙やごみのポイ捨てについて、現条例の運用しやすい形への改正を求める。

**答（健康推進部長）** ①平成30年度、小学5年生に対し調査をした。測定キットは検討したい。

**答（市民部長）** ②路上喫煙等の

※虞犯少年・少女…環境・性格などの面から、将来的に法を犯すおそれがあると見なされる少年・少女

防止は、市民の意識高揚が大切と考えており啓発に努めたい。

### 教育について

**問** ①令和3年9月の教育長答弁にあった出席扱い（ネットスクール利用）にする7要件はクリアできるようになったのか。対面指導の準備は整ったのか。②スクールソーシャルワーカーの活動成果について③いじめ、校内暴力、<sup>くほん</sup>虞犯少年・少女<sup>(※)</sup>への対応について伺う。

**答（教育長）** ③いじめ問題は早期発見、対応をしている。暴力行為や虞犯少年等は、どのように接するかが重要と考える。

**答（教育部長）** ①要件はその都度確認が必要で、対面指導は準

備できている。②家庭訪問等で生活力が向上し、少しずつ登校できるようになった事例がある。



### 市民生活について

**問** ①管内の橋で維持管理等に関する通報や相談は年間どれくらいか。②管理者不明橋の調査の有無と管理橋数を伺う。

**答（都市建設部長）** ①令和3年度2件、令和2年度2件。②調査実績はなく、道路パトロールで管理者不明橋はないと考えている。管理橋は231橋である。



古川 一美 議員



## 古河ブランド事業について

**問** アロマ商品「はなもものしずく」が販売から3年経過し半数が在庫。自治体であっても経営努力は必要。事業の反省点、今後の見通し、教訓を伺う。

**答（産業部長）** 令和元年度古河桃まつりでのPRの計画が、新型コロナウイルス感染症で中止となった。以後、道の駅等での販売に限定されてしまい反省している。この事業は、在庫をな

くし終了する。地域活性化への取り組みとして、別の形で商品化する検討を継続していきたい。

## デジタル教科書について

**問** 本格導入に向けて試験的活用が始まった。音声や動画など興味関心を高める効果はあるが、読解力や思考力向上の課題、視力低下、デジタル依存の懸念も指摘されている。考える力を育てる重要な時期。紙の本をじっくり読み、思考を深める機会が重要。慎重な見極めを求める。

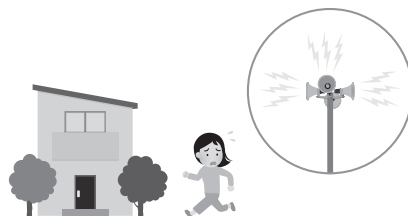
**答（教育長）** デジタル教科書による健康面への配慮は、学校に注意を促している。国が、一斉講義型授業から主体的、対話的な学びへの転換を目指して推奨

しており、教員に対し授業設計や活用方法等、研修の充実を図りたい。実証事業であり課題等を国や県に報告していきたい。

## 武力攻撃等の脅威から市民の生命・財産を守るために

**問** 北朝鮮のミサイル落下などの危険が及んだ場合、市の対応と市民がとるべき行動を伺う。

**答（総務部長兼危機管理監）** 国・県の指示で関係機関と連携し、避難誘導をする。市民は、Jアラートに従い、速やかに屋内等に避難してほしい。



秋庭 繁 議員



## 中田新田地内の騒音・振動等の公害について

**問** 鉄壁で囲まれた作業所（スクラップヤード）の騒音・振動で、近隣住民の方々は10年来悩まされている。「規制する手立てがない」という古河市の説明に住民の皆さんは困惑し、警察に通報することもある。「昼間家にいるのが苦痛」、「窓を閉めていても騒音・振動がする」との苦情に、①市はどのような対応をとってきたのか。②古河市の「法定受託事務である騒音・振動等

の公害」について、改善命令・改善勧告もできるが、これらの対応はしたのか。③千葉県の市や境町でもヤード規制の条例がつけられている。古河市のあり方が問われる課題であり、市長の見解を伺う。

**答（市長）** ③近隣市町のヤード規制が強まったのは、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）周辺で実際に問題が起きたことに影響されていると思われる。

今後、近隣の情勢を調査し、さらに研究・検討していきたい。

**答（市民部長）** ①現地を確認し、苦情内容を事業主等に伝え、改善の指導やアドバイスを行うなど、騒音や振動が少しでも軽減できるような対応をとっている。②ご指摘の施設等は、騒音規制

法・振動規制法による規制対象に当てはまらないと認識しており、改善命令や改善勧告はしていない。該当事業者へは、市のできる範囲の指導を市民に寄り添ったかたちで進めていきたい。



騒音・振動公害の発生源のスクラップヤード



## 議会報告会を YouTube で配信中！

### ～市民に身近で開かれた議会づくりを目指して～

議会報告会は、古河市議会基本条例に基づき「市民に身近で開かれた議会づくり」を進めるため、開催しています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの開催となりました。

令和4年3月に14名の議員で議会報告会作業チームを編成し、第1回定例会の審査結果や委員会活動等について撮影・編集を行い、5月23日から配信しています。

ぜひ、ご覧ください！

また、次回開催時の参考にするため、皆さまからのご意見を募集しております。YouTube 概要欄からアンケートにご協力ください。

[YouTube での視聴はこちら](#) →



作業チーム会議の様子



全編動画のサムネイル<sup>(※)</sup>

第1部から第3部に分割した動画もあります

※サムネイル…YouTube の動画一覧ページで表示される画像

## 古河ケーブルテレビによる議会の生放送が始まりました

令和4年4月26日、古河市議会と古河ケーブルテレビ株式会社は「古河市議会定例会の放映に関する協議書」締結式を行いました。

このことにより、令和4年第2回定例会から、定例会初日<sup>(※)</sup>と一般質問（代表質問）が生放送で視聴できるようになりました。

議会傍聴をご自宅でも…！



締結式の様子

生放送は111チャンネル  
録画放送は112チャンネル

※定例会初日の放送は、開会から市長報告（施政方針）までです。

## ～ 会派の活動を報告します ～

### 政友会

当会派は4月12日、古河市と株式会社デイトナ・インターナショナルの包括連携協定の締結によりできた市内初のコミュニティ型コワーキングスペース<sup>(※)</sup>「& FREAK. (アンドフリーク)」を視察しました。

さまざまなライフスタイルの提案による地方創生の重要性を

※コワーキングスペース…個人事業者等がオフィスの基本設備を共有しながら仕事をする場所

再確認し、今後も強く推進すべきと感じました。

また同日、令和3年度「市長と語ろうまちづくり」の資料を基に執行部の説明を受け、意見交換をしました。宇都宮線沿線の久喜市、小山市との比較でしたが、どの市も人口が減少しています。古河市が発展するためには、沿線での存在感を高め、選ばれる都市を目指す必要性を感じました。

今後も会派内にて市政について勉強会を開催し、提言をしていきます。



& FREAK. を訪問

### 古河市公明党

古河市公明党は5月12日、今年度事業の中から会派として推進をした次の5事業について、担当部局との意見交換を行いました。(1) 重層的支援体制整備事業(新規)。(2) 道路等破損通報システム(新規)。(3) フレイル予防の一体的実施事業(拡充)。(4) 危険ブロック塀撤去

補助事業(継続)。(5) 雑誌スポンサー制度(新規)。

市は重層的支援体制整備事業について、複雑化・複合化した問題を抱える対象者を包括的に支援するため、「高齢・介護」、「障がい」、「子ども・子育て」、「生活困窮」の各分野の支援機関や庁内関係各課が「縦割り」ではなく、担当課の枠組みを超えて連携・協働し、「多機関協働事業」の中で対象者一人

一人のニーズに応じた「支援プラン」を検討するとしており、今後の事業の推進に期待しています。



担当部局と意見交換する古河市公明党

### 真政会

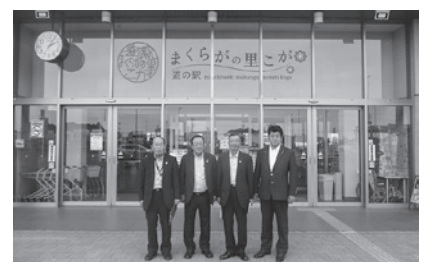
真政会では、全国に1,194駅が設置されている「道の駅」の現況と課題について調査すべく、6月22日に筑西市、下野市、五霞町そして当市の「まぐらがの里こが」へ行き、研修した。

道の駅は、ドライバー等が利用できる休憩機能、情報を提供する情報発信機能、地域づくり

を行う地域連携機能の3つの機能が基本となっている。制度創設から20年の間に道路利用者へのサービス提供の場から、地域の拠点機能の強化とネットワーク化を重視し、道の駅自体が目的となってきたようである。特産物や観光資源を生かし、人を呼び、地域に仕事を生み出す核へと変化した。

都市間競争の場と化した道の駅事業をもう一段レベルアップ

するため、当市の道の駅事業も創意工夫を施し変化させるとともに、経営基盤強化のためにも運営方法、経営方法の見直しを検討すべきと思われる。



## ～ 会派の活動を報告します ～

### 市民ベースの会

市民ベースの会は、「ヤクルトはなももプラザ」において施設利用状況と新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う施設の臨時休館の状況等について視察を行いました。

コロナ前の利用人数は令和元年度76,548人でありましたが、令和2年度は26,694人、令和

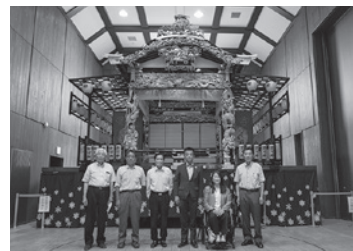
3年度は34,079人に減少。感染拡大防止のため、令和2年度では99日間、令和3年度では75日間休館をした影響が出ているとのことでした。

感染拡大防止策等が功を奏し、一日も早く平穏無事な日々が訪れることを願っています。

会派からは、館内のフリーWi-Fi接続方法に難点がある旨の指摘をしました。市民のためのフリーWi-Fiですから、

使い勝手の良いものにしてほしいと思います。

市民ベースの会は、今後も市民目線に立ち、現場主義を貫いてまいります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



### 会派に属さない議員

<年間総括>主な質問【不登校問題へICT教育の導入を早期から提唱し、結果的にコロナ禍のオンライン授業実現に尽

力】【防災対策：避難所のトイレ衛生や入浴の問題に具体案を提示】【駅前の鳥害（騒音・糞尿）問題を指摘して解決】【未納給食費と児童手当の相殺を提案】【太陽光発電設備の乱開発問題を指摘】等を行った。また

上程された議案の質疑を欠かさず行い、問題点を指摘した。今後は、防災道の駅の実現に向けた取り組みを行っていききたい。今後も言論中心に活動をして、皆さまに託された責任を果たしていききたい。（小山 高正）

### 会派に属さない議員

毎回一般質問で政策提言、問題提起をしています。未成年者へのワクチン接種、太陽光発電、古河ブランド事業の問題点を問

い、子育てママの声を訴え、主権者教育、部活動改革、デジタル教科書について提言しました。市民の皆さまの声をお聞きし、対応させていただきました。また、市政報告会を行いました。

（古川 一美）



市政報告会

### 会派に属さない議員

6月25日、中田公民館で開催された“憲法学習会”（主催全日本年金者組合古河支部）で時間をいただき、「古河市議会

第2回定例会」の報告を行いました。その後、質問や意見を伺いました。

今後も市民の皆さまの要望や意見を、市政に届けてまいります。

（秋庭 繁）



年金者組合の学習会で  
行った「市政報告」

## 議員表彰

市議会議員として地方自治の振興発展に寄与した功績が認められ、全国市議会議長会および茨城県市議会議長会より黒川輝男議員が表彰されました。



全国市議会議長会・茨城県市議会議長会  
 ≪議員在職 25年特別表彰≫

## ようこそ、議場へ

5月17日、古河市立第五小学校3年生の児童22名が市役所見学の 일환で議場を見学しました。

議員席に座り、真剣に説明を聞きながらたくさん質問が飛び交いました。



元気に手をあげる児童

### ◆◆◆ 令和4年 第3回定例会の会期予定 ◆◆◆

月日	会議	内容
9月1日(木)	本会議	開会、議案の説明
9月2日(金)	休会	議案調査
9月5日(月)	本会議	質疑、議案の委員会付託
9月6日(火)	常任委員会	総務常任委員会、産業建設常任委員会
9月7日(水)	常任委員会	文教厚生常任委員会
9月8日(木)	特別委員会	決算特別委員会
9月9日(金)	特別委員会	決算特別委員会
9月12日(月)	特別委員会	決算特別委員会
9月13日(火)	本会議	一般質問
9月14日(水)	本会議	一般質問
9月15日(木)	本会議	一般質問
9月16日(金)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

○時間は午前10時からの開催予定です。

○産業建設常任委員会は午前10時15分からの開催予定です。

※変更される場合もありますので議会事務局までお問い合わせください。

### 第2回定例会の傍聴者数

本会議	16人
委員会	1人
合計	17人

※傍聴者数は延べ人数

### 議会の様子・会議録 を見てみよう！

古河市議会ホームページ、または下記2次元コードからご覧になれます。



議会中継



会議録

## 編集後記

今年は、記録的に短い梅雨が明けた途端に猛烈な暑さとなりました。感染対策と暑さ対策をしながら、健康第一でお過ごしくください。さて、今号は、感染対策を講じながら行われた議員活動を、会派の活動報告として掲載しました。また、現在、YouTubeにて、開かれた議会を目指して令和4年度古河市議会報告会を配信しています。今回は、感染予防の観点からオンライン開催としました。ぜひご覧ください。

委員長 小森谷 博之

### 【議会だより編集委員会】

委員長 小森谷博之  
 副委員長 鶴見久美子  
 委員 鈴木 務 稲葉 貴大  
 落合 康之 増田 悟

古河市議会事務局  
 古河市長谷町38番18号  
 ☎ 0280-22-5111 (代)